

■ 小学校6学年 社会科 (3)

単元名・単元のねらい	主な学習内容	博物館資料	資料活用の視点
	<ul style="list-style-type: none"> ・各地で王がくにを治める ・大きな墓をつくる ・王たちがまとまる ・大陸文化が伝わる ＜発展学習＞ ・使える土器をつくろう 	<ul style="list-style-type: none"> ・桜井古墳 <ul style="list-style-type: none"> ・原町市上渋佐 ・全長74.5m ・東北地方を代表する前方後方墳 [C、豪族と古墳] ・桜井古墳実測図 ・空から見た桜井古墳 ・福島県と宮城県南部の古墳の分布と大きさ ・羽山横穴の壁画 <ul style="list-style-type: none"> ・原町市中太田 ・奥行約3m ・幅2.8、高さ1.8m ・装飾横穴 ・羽山横穴出土品 <ul style="list-style-type: none"> ・鉄製直刀 ・装身具、馬具 ・塩釜式土師器 ・須恵器 <ul style="list-style-type: none"> ・俵壺 ・平瓶 ・体験学習 ・縄文土器づくり① ・縄文土器づくり② 	<ul style="list-style-type: none"> ・農耕社会が成立し、富を蓄積した有力者は、やがて地域（ムラ）を支配する豪族（王）に成長したことを理解させる。 ・桜井古墳は、その大きさから、多くの労働力と技術によって築造されたことを考えさせる。 ・3世紀後半から7世紀前半にかけて、地域の支配者となった豪族は、農民を耕地の開発や古墳の築造などに従事させた。古墳の大きさから、豪族の力の大きさに気づかせる。 ・羽山横穴は、壁画の装飾が、学術的に価値が高く、昭和48年（1973）に国の史跡に指定されたことにふれる。 ・羽山横穴出土品から、当時この地方を支配した豪族の権力の大きさを想像させる。 ・渡来人が、大陸の進んだ文化を伝え、国づくりに活躍したことに気づかせる。 ・土師器—素焼きで赤色の土器で、弥生土器の流れをひきつぐ ・須恵器—朝鮮半島から伝わった堅くて吸水性の少ない陶質の土器 ・縄文土器をまねて、土器をつくり、縄文時代の人々のくらしを考える。 ・進んで参加する意欲を高め、体験させる。